

令和5年度

(自)令和5年4月1日

(至)令和6年3月31日

第12期

定期総会議案書

と き 令和6年5月28日(火曜日)
午後3時00分から

ところ 横浜ベイホテル東急
TEL(045)682-2222

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会

○ 定期総会次第

(午後3時00分～3時30分)

- 1 開会の辞
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議長選出
 - 4 総会成立宣言
 - 5 議 事
 - 第1号議案 令和5年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 令和5年度決算報告(案)承認の件
 - 第3号議案 令和5年度会計監査報告の件
 - 第4号議案 会費規程の改定の件
 - 6 閉会の辞
-

○ 優良職員表彰式次第 日精協永年勤続病院職員

(午後3時40分～4時40分)

- 1 開式の辞
 - 2 会長あいさつ
 - 3 来賓紹介
 - 4 受賞者紹介 優良職員・日精協永年勤続病院職員
 - 5 表彰状授与
 - 6 来賓祝辞
 - 7 受賞者代表答辞
 - 8 閉式の辞
-

○ 記念祝賀パーティー

(午後4時50分～6時30分)

令和5年度 事業報告

1 事業実施状況

(1) 研修会（定款第4条第1項3号・6号）

① 精神科看護技術研修

期 日 令和6年1月22日(月)～1月26日(金)

会 場 AP横浜（横浜市西区北幸）

受講者 15名

科目及び講師 下表のとおり

期 日	午 前		午 後	
1月22日 (月)	開 講 式	「神奈川県精神保健福祉について」 神奈川県健康医療局 がん・疾病対策課GL 浅岡洋一氏	「アルコール依存症の理解と対応」 久里浜医療センター 精神科医師 湯本洋介氏	
1月23日 (火)		「急性期患者の理解と対応」 秦野厚生病院 看護部長 西典子氏	「児童思春期患者の理解と対応」 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長 庄紀子先生	
1月24日 (水)		「認知症の理解と対応」 横浜ほうゆう病院 看護部長 原科美津枝氏	「統合失調症」 栗田病院 院長 竹林裕直先生	
1月26日 (金)		「心理療法について」 川崎こころのケアセンター センター長 公認心理師/臨床心理士 稲富正治氏	「気分障害の理解と対応」 神奈川県立精神医療センター ストレスケア病棟 医師 伊津野拓司先生	閉 講 式

② 栄養課職員研修

期 日 令和6年3月27日(水)

方 法 オンラインセミナー

テーマ 「疾患と症例から学ぶ 精神疾患における栄養管理プロセス」

講 師 独立行政法人国立病院機構 東京病院

栄養管理室 栄養管理室長 阿部裕二氏

参加者 35名

(2) 事務長会

① 総会及び第1回研修会

期 日 令和5年6月19日(月) 15時～15時25分

会 場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 5階 柏

出席者 39名

総会議題

- 1) 令和4年度事業報告について
- 2) 令和4年度決算報告(案)について
- 3) 令和5年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 古 稲 俊 博(紫雲会横浜病院)

留任 加 藤 裕(曾我病院)

新任 村 上 賢 之(あさひの丘病院)※

新任 山 田 謙太郎(富士見台病院)

※あさひの丘病院は1年間で、残りの1年を武田病院とする

第1回研修会 15時30分～17時

参加人数 39名

演 題 「精神科医療の今後の動向～精神保健福祉法改正等について」

講 師 吉富薬品株式会社 医療情報担当 橋 敦彦氏

② 施設見学会

期 日 令和5年11月21日(火) 15時～16時20分

場 所 医療法人徳洲会 横浜日野病院

参加人数 17名

③ 第2回研修会

期 日 令和6年3月19日(火) 14時30分～16時

会 場 AP横浜(オンラインセミナーとのハイブリッド形式)

参加人数 会場33名、オンライン62名

演 題 「精神科に係る令和6年度診療報酬改定と精神保健福祉法改正について」

講 師 吉富薬品株式会社 医療情報担当 西村雅晴氏

④ 医事研究会

期 日 令和5年10月20日(金) 15時～16時30分

会 場 ホテルプラム 4階 サロン・ド・エティンセル

参加人数 37名

演 題 「入院算定の基準や取得後の継続について」

グループに分かれての意見交換

(3) 看護部長会

① 総会及び第1回研修会

期 日 令和5年6月20日(火) 15時～15時25分
会 場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 日輪 I
出席者 31名

総会議題

- 1) 令和4年度事業報告について
- 2) 令和4年度決算報告(案)について
- 3) 令和5年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 田 中 君 枝(常盤台病院)
留任 尾 形 由美子(愛光病院)
新任 牛 腸 好 美(横浜相原病院)
新任 宮 島 晶 子(厚木佐藤病院)

第1回研修会 15時30分～17時

参加者 44名
演 題 「身体的拘束・虐待について考える」
講 師 日本精神科看護協会 会長 吉 川 隆 博 氏

② 施設見学会

期 日 令和5年8月18日(金) 14時～15時30分
場 所 医療法人徳洲会 横浜日野病院
参加者 18名

③ 第2回研修会

期 日 令和5年11月30日(木) 14時～15時30分
会 場 AP横浜(オンラインセミナーとのハイブリッド形式)
参加者 会場12名、オンライン27名
演題1 「県内精神科における特定看護師の現状～アンケート調査より」
講 師 横浜相原病院 看護部長 牛 腸 好 美 氏
演題2 「横浜相原病院における特定看護師の活動について」
講 師 横浜相原病院 特定行為研修修了看護師 中 村 和 浩 氏

④ 第3回研修会

期 日 令和6年3月13日(水) 14時～15時30分
会 場 ビジョンセンター横浜(オンラインセミナーとのハイブリッド形式)
参加者 会場22名、オンライン47名
演 題 「看精神保健福祉法の改正について」
講 師 日本精神科看護協会 会長 吉 川 隆 博 氏

(4) 薬剤部長会

① 総会

期 日 令和5年6月23日(金) 15時～15時25分

会 場 AP横浜 4階 Eルーム

出席者 22名

総会議題

- 1) 令和4年度事業報告について
- 2) 令和4年度決算報告(案)について
- 3) 令和5年度事業計画(案)について
- 4) 運営委員の選任について

運営委員(敬称略)

留任 飛田俊介(日野病院)

留任 梅津志野(秦野厚生病院)

新任 小川ひろみ(あさひの丘病院)

新任 庭木圭子(愛光病院)

第1回研修会 15:30～17:00

出席者 22名

演 題 「精神科における臨床心理士の役割 ～心理検査の読み方など」

講 師 愛光病院 地域連携支援局 心理科 科長 大矢 瑞穂 氏

② 第2回研修会

期 日 令和5年10月18日(水) 15時～16時30分

会 場 AP横浜(オンラインセミナーとのハイブリッド形式)

参加者 会場14名、オンライン17名

演 題 「クロザピンについて」

講 師 あさひの丘病院 院長 福島 端 氏

③ 第3回研修会

期 日 令和6年2月29日(木) 15時～16時30分

会 場 ビジョンセンター横浜(オンラインセミナーとのハイブリッド形式)

参加者 会場15名、オンライン12名

演 題 「精神福祉法の改正に伴う虐待通報の義務化について」

「令和6年度診療報酬改定について～病院薬剤師に係る項目～」

講 師 吉富薬品株式会社 医療情報担当 西村 雅晴 氏

(5) 代表者・院長会議

期 日 令和5年10月10日(火)
会 場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (横浜市西区北幸)
出席者 講演会 (会場27名、オンライン26名)、懇談会25名
講 演 「病院管理者が知っておくべき労務管理の基礎とハラスメント」
演 者 福島通子社会保険労務士事務所
特定社会保険労務士 福 島 通 子 氏

(6) 共催事業 (定款第4条第1項3号・6号)

① 神奈川県精神科病院協会共催WEB講演会

期 日 令和5年4月20日(木)
共 催 武田薬品工業株式会社、ルンドベック・ジャパン株式会社
出席者 140名
講演Ⅰ 「令和5年4月精神保健福祉法改正と行動制限最小化の話題」
演 者 医療法人社団五稜会病院
理事長・院長 中 島 公 博 氏
講演Ⅱ 「『疾病コストからみたうつ病治療の重要性』
～疾病トレンドの変化を見据えて～」
演 者 東京愛成会高月病院 院長 長 瀬 幸 弘 氏

② 神奈川県精神神経科診療所協会との合同WEB学術講演会

期 日 令和5年5月23日(火)
共 催 田辺三菱製薬・ヤンセンファーマ株式会社・吉富薬品株式会社
出席者 61名
講演① 「統合失調症患者の院内連携について」
演 者 医療法人誠心会 あさひの丘病院
副院長・看護部長 丸 屋 めぐみ 氏
講演② 「統合失調症治療を再考する～遅発性ジスキネジアの治療とともに～」
演 者 和歌山県立医科大学 神経精神医学教室 教授 紀 本 創 兵 氏

(7) 助成 (定款第4条第1項第9号)

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① 一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会 | 令和5年6月30日 |
| ② 日本精神科看護協会 第20回こころの日展覧会 | 令和5年6月30日 |
| ② 一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会 | 令和5年7月31日 |

(8) 表彰（定款第4条第1項第6号）（敬称略）

- | | |
|--|------------|
| ① 令和4年度優良職員表彰
88名 | 令和5年5月30日 |
| ② 公益社団法人日本精神科病院協会永年勤続病院職員表彰
13名 | 令和5年5月30日 |
| ③ 令和5年度神奈川県県民功労者表彰
山口 哲 顕（港北病院） | 令和5年6月16日 |
| ④ 令和5年度神奈川県保健衛生表彰知事表彰
笠原 友 幸（秦野病院） | 令和5年11月17日 |
| ⑤ 精神保健福祉事業厚生労働大臣表彰
武田 龍太郎（武田病院）
春原 善 治（愛光病院） | 令和5年10月27日 |
| ⑥ 公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰
佐久間 謙 一（愛光病院） | 令和5年10月27日 |
| ⑦ 神奈川県救急医療功労者表彰
医療法人正永会 港北病院 | 令和5年9月5日 |
| ⑧ 神奈川県公衆衛生協会会長表彰
千葉 幸 代（愛光病院） | 令和5年11月20日 |
| ⑨ 神奈川県精神保健福祉協会会長表彰
大間 美 保（湘南病院） | 令和5年12月7日 |

(9) 各種委員の推薦（定款第4条第1項第11号）（敬称略）

- | | |
|---|-----------|
| ① 横浜市措置入院者等実地審査に係る審査担当精神保健指定医
依 頼 者 横浜市健康福祉局長
被推薦者（順不同） | 令和5年4月25日 |
|---|-----------|

氏 名	現 職	氏 名	現 職
山口 哲 顕	港北病院院長	加 瀬 昭 彦	横浜舞岡病院院長
長谷川 吉 生	日向台病院院長	井 上 俊 宏	日向台病院医師
荒 井 政 明	ワシン坂病院医師	畑 俊 治	横浜丘の上病院名誉会長
佐 伯 隆 史	神奈川病院理事長	大 滝 紀 宏	湘南病院院長
馬 場 淳 臣	横浜日野病院院長	畑 俊 彰	横浜丘の上病院理事長
石 井 一 彦	大和病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
福 島 端	あさひの丘病院院長	山 下 さおり	常盤台病院副院長
増 田 竜 大	港北病院副院長		

任 期 令和5年4月1日～令和6年3月31日

- | | |
|---|-----------|
| ② 横浜市精神保健福祉審議会委員
依 頼 者 横浜市長（精神保健福祉課）
被推薦者 山口 哲 顕（港北病院院長）
佐 伯 隆 史（神奈川病院理事長）
長谷川 吉 生（日向台病院院長） | 令和5年4月25日 |
|---|-----------|

馬場 淳 臣（横浜日野病院院長）

任 期 令和5年9月1日～令和8年8月31日

- ③ 川崎市精神科病院実地審査に係わる精神保健指定医 令和5年4月25日

依 頼 者 川崎市健康福祉局長

被推薦者（順不同）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
長谷川 吉 生	日向台病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
山 口 哲 顕	港北病院院長	武 田 龍太郎	武田病院院長
澤 山 透	相模ヶ丘病院院長	竹 林 裕 直	栗田病院院長
岡 田 昇	生田病院院長	井 上 俊 宏	日向台病院医師
石 附 知 実	武田病院リハビリテーション診療部長		

任 期 令和5年4月～令和6年3月

- ④ 神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会委員 令和5年6月13日

依 頼 者 神奈川県健康医療局保健医療部 精神保健医療担当課長

被推薦者 増 田 直樹（清川遠寿病院理事長）

任 期 令和5年7月20日～令和7年7月19日

- ⑤ 神奈川県精神科救急医療調整会議委員 令和5年6月13日

依 頼 者 神奈川県健康医療局保健医療部 精神保健医療担当課長

被推薦者 山 口 哲 顕（港北病院院長）

任 期 令和5年6月1日～令和7年5月31日

- ⑥ 神奈川県医療審議会委員 令和5年6月13日

依 頼 者 神奈川県健康医療局保健医療部長

被推薦者 山 口 哲 顕（港北病院院長）

任 期 令和5年6月22日～令和6年7月31日

- ⑦ 相模原市精神科病院実地指導・実地審査担当医 令和5年6月13日

依 頼 者 相模原市長

被推薦者（順不同）

氏 名	現 職	氏 名	現 職
増 田 直 樹	清川遠寿病院理事長	稲 田 健	北里大学医学部教授
澤 山 透	相模ヶ丘病院院長	澤 山 恵 波	北里大学医学部講師
山 田 聡 敦	国府津病院院長	村 岡 寛 之	北里大学医学部講師
		新 美 裕 太	北里大学医学部助教

任 期 令和5年4月1日～令和6年3月31日

- ⑧ 神奈川県災害医療対策会議委員（委員交代） 令和5年7月11日

依 頼 者 神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長

被推薦者 長谷川 吉 生（日向台病院院長）

任 期 令和5年8月1日～令和6年3月31日

- ⑨ 神奈川県精神科病院実地審査に係る実地審査担当医 令和5年7月11日

依 頼 者 神奈川県健康医療局保健医療部 精神保健医療担当課長

被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
畑 俊 治	横浜丘の上病院名誉会長	高 屋 淳 彦	福井記念病院院長
長谷川 吉 生	日向台病院院長	竹 内 俊 介	愛光病院院長
井 上 俊 宏	日向台病院医師	増 田 直 樹	清川遠寿病院理事長
坂 井 喜 郎	秦野厚生病院院長	岩 元 誠	清川遠寿病院院長
関 口 剛	丹沢病院院長	澤 山 透	相模ヶ丘病院院長
山 口 哲 顕	港北病院院長	山 田 聡 敦	国府津病院院長
大 野 史 郎	平塚病院院長	矢 野 広	国府津病院副院長
石 井 紀 夫	藤沢病院院長	佐 伯 隆 史	神奈川病院理事長
長谷川 剛	曾我病院院長	藤 渡 辰 馬	横浜相原病院院長
伊 藤 瑞 穂	曾我病院医師	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
黒 岩 隆	相州病院理事長	稲 田 健	北里大学医学部教授
内 田 修 二	愛光病院副院長	村 岡 寛 之	北里大学医学部講師
武 田 龍太郎	武田病院院長	澤 山 恵 波	北里大学医学部診療講師
石 附 知 実	武田病院診療部長	新 美 裕 太	北里大学医学部助教
伊 吹 龍	けやきの森病院院長	朝 倉 崇 文	北里大学医学部助教
大 滝 紀 宏	湘南病院院長	山 本 賢 司	東海大学医学部教授
馬 場 淳 臣	横浜日野病院院長	三 上 克 央	東海大学医学部教授
加 瀬 昭 彦	横浜舞岡病院院長	大 西 雄 一	東海大学医学部講師
笠 原 友 幸	秦野病院院長	木 本 啓 太郎	東海大学医学部講師
福 島 端	あさひの丘病院院長	高 橋 有 記	東海大学医学部講師

任 期 令和5年10月1日～令和6年3月31日

- ⑩ 救急医療対策委員会委員 令和5年7月11日
 依 頼 者 神奈川県医師会
 被推薦者 坂 井 喜 郎（秦野厚生病院院長）
 任 期 令和5年7月1日～令和7年6月30日
- ⑪ 産業医部会幹事 令和5年7月11日
 依 頼 者 神奈川県医師会
 被推薦者 山 口 哲 顕（港北病院院長）
 任 期 令和5年7月1日～令和7年6月30日
- ⑫ 災害救助対策委員会委員 令和5年7月11日
 依 頼 者 神奈川県医師会
 被推薦者 坂 井 喜 郎（秦野厚生病院院長）
 任 期 令和5年7月1日～令和7年6月30日
- ⑬ 一般社団法人JAPHネットワーク 福祉部会・総代 令和5年7月11日
 依 頼 者 一般社団法人JAPHネットワーク
 被推薦者 武 田 龍 太郎（武田病院）

- ⑭ 茅ヶ崎市公務災害補償等審査会委員 令和5年9月12日
 依頼者 茅ヶ崎市長
 被推薦者 秋山 寛（平塚病院診療部長）
 任期 令和5年9月1日～令和8年8月31日
- ⑮ 川崎市措置入院制度運用に関する懇談会委員 令和5年9月12日
 依頼者 川崎市健康福祉局長
 被推薦者 武田 龍太郎（武田病院院長）
 任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日
- ⑯ 川崎市精神医療審査会委員（1名交代） 令和5年9月12日
 依頼者 川崎市健康福祉局長
 被推薦者 岡田 昇（生田病院院長）
 任期 令和5年10月1日～令和6年3月31日
- ⑰ 横浜家庭裁判所委員会委員 令和5年10月17日
 依頼者 横浜家庭裁判所長
 被推薦者 大滝 紀宏（湘南病院院長）
 任期 令和5年11月13日～令和7年11月12日
- ⑱ 横浜市こころの健康相談センター嘱託医師 令和5年12月12日
 依頼者 横浜市長
 被推薦者 佐伯 隆史（神奈川病院理事長） 第2水曜日、第4火曜日
 馬場 淳臣（横浜日野病院院長） 第4火曜日
 藤渡 辰馬（横浜相原病院院長） 第2水曜日
 遠藤 桂子（横浜舞岡病院副院長） 第4火曜日
 任期 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ⑲ 相模原市精神医療審査会委員 令和5年12月12日
 依頼者 相模原市長
 被推薦者 澤山 透（相模ヶ丘病院院長）
 福島 端（あさひの丘病院）
 関口 剛（丹沢病院）
 稲田 健（北里大学教授）
 任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日
- ⑳ 神奈川県精神医療審査会委員 6名増 令和6年1月16日
 依頼者 神奈川県精神保健福祉センター所長
 被推薦者（順不同）
- | 氏名 | 現職 | 氏名 | 現職 |
|-------|-----------|-------|----------|
| 笠原 友幸 | 秦野病院院長 | 岡崎 有恆 | みくるべ病院院長 |
| 関口 剛 | 丹沢病院理事長院長 | 遠藤 詩郎 | 富士見台病院院長 |
| 竹内 俊介 | 愛光病院理事長院長 | 大淵 敬太 | 常盤台病院院長 |
- 任期 令和6年4月1日～令和6年6月30日
- ㉑ 横浜市精神医療審査会委員 令和6年1月16日
 依頼者 横浜市長（こころの健康相談センター）

被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
山口哲顕	港北病院院長	藤渡辰馬	横浜相原病院院長
坂井喜郎	秦野厚生病院院長	矢野 広	国府津病院副院長
佐伯隆史	神奈川病院理事長	野崎伸次	十愛病院院長
長谷川 剛	曾我病院院長	大野史郎	平塚病院院長(予備委員)

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

- ②② 川崎市精神医療審査会委員 令和6年1月16日

依 頼 者 川崎市健康福祉局長

被推薦者（順不同）

氏名	現職	氏名	現職
武田龍太郎	武田病院院長	岡田 昇	生田病院院長
竹林裕直	栗田病院院長	袖長光知穂	聖マリアンナ医科大学講師
大野史郎	平塚病院院長	小山雄史	東横恵愛病院院長
大坪明子	ハートフル川崎病院院長		
猪狩 温	栗田病院診療部長 ※予備委員		

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

- ②③ 神奈川県公衆衛生協会理事 令和6年1月16日

依 頼 者 神奈川県公衆衛生協会会長

被推薦者 山口哲顕（会長）

任 期 令和6年1月16日～令和7年11月30日

- ②④ 生活保護法関係嘱託医 令和6年2月13日

依 頼 者 神奈川県医師会長

被推薦者 坂井喜郎（秦野厚生病院院長）

任 期 令和6年4月1日～令和7年3月31日

- ②⑤ かながわ福祉サービス運営適正化委員会 運営監視委員会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県社会福祉協議会会長

被推薦者 藤渡辰馬（横浜相原病院院長）

任 期 令和6年5月12日～令和8年5月11日

- ②⑥ 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県社会福祉協議会会長

被推薦者 勝瀬大海（横浜ほうゆう病院 副院長）

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

- ②⑦ 横浜市保健医療協議会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 横浜市医療局長

被推薦者 佐伯隆史（神奈川病院理事長）

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

- ②⑧ 神奈川県いじめ防止対策調査会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県教育委員会教育長

被推薦者 蓮舎寛子（鶴見西井病院医師）

任 期 令和6年4月26日～令和8年4月25日

- ②⑨ 神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県教育委員会教育長

被推薦者 大 滝 紀 宏 (湘南病院院長)

任 期 令和6年4月1日～令和7年3月31日

- ③⑩ 神奈川県災害医療対策会議委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長

被推薦者 長谷川 吉 生 (日向台病院院長)

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

- ③⑪ 神奈川県精神医療審査会委員 令和6年3月12日

依 頼 者 神奈川県精神保健福祉センター所長

被推薦者 (順不同)

氏 名	現 職	氏 名	現 職
増 田 直 樹	清川遠寿病院理事長	長谷川 吉 生	日向台病院院長
大 滝 紀 宏	湘南病院院長	坂 井 喜 郎	秦野厚生病院院長
福 島 端	あさひの丘病院院長	畑 俊 彰	横浜丘の上病院理事長
稲 本 淳 子	昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター長	岡 崎 有 恆	みくるべ病院院長
笠 原 友 幸	秦野病院院長	遠 藤 詩 郎	富士見台病院院長
関 口 剛	丹沢病院理事長院長	大 淵 敬 太	常盤台病院院長
竹 内 俊 介	愛光病院理事長院長	村 岡 寛 之	北里大学医学部講師
山 本 賢 司	東海大学医学部教授		

任 期 令和6年7月1日～令和8年6月30日

- ③⑫ 川崎市における依存症対策に関するアドバイザー 令和6年3月12日

依 頼 者 川崎市健康福祉局精神保健課長

被推薦者 武田 龍太郎 (武田病院院長)

任 期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

- (10) 会報発行 (定款第4条第1項第10号)

協会報第88号 (2023年) B5版

発行部数 300部

(11) 神奈川県補助金事業

令和5年度神奈川県地域医療介護総合確保基金事業による「精神科看護職員研修事業」の実施（定款第4条第1項第3号）

・実施状況

ア) 精神科新人看護職員研修

実施日：令和5年10月25日(水)（参加：12名）

令和5年10月30日(月)（参加：15名）

令和5年12月1日(金)（参加：20名）

内 容：神奈川県精神科病床を有する病院に勤務する新人看護職員を対象に、認知行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、新人看護職員の早期離職の防止とその人材育成を図る。

イ) 精神科中堅看護職員研修

実施日：令和6年2月16日(金)（参加：19名）

令和6年2月19日(月)（参加：11名）

内 容：神奈川県精神科病床を有する病院に勤務する中堅看護職員を対象に、認知行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、時代の変化に対応する精神科看護職員の育成と人材確保の一助となることを目指す。

(12) 4県市委託事業の実施（定款第4条第1項第14号）

- ① 精神科救急医療夜間輪番病院調整
- ② 精神科救急医療深夜輪番病院調整
- ③ 精神科救急医療平日輪番病院調整
- ④ 精神科救急医療休日輪番及び土日午後輪番病院調整
- ⑤ 応援指定医派遣病院調整

(13) 各種委員会の構成状況

① 精神科救急医療体制調整委員会（山口 哲顕・大野 史郎・大滝 紀宏）

第1・第2ブロック代表	(主) 武田 龍太郎 (基幹病院代表) 田口 寿子	佐伯 隆史 松下 幸生	畑 俊治
第3ブロック代表	(主) 増田 直樹 (基幹病院代表) 稲田 健	澤山 透	黒岩 隆
第4ブロック代表	(主) 長谷川 剛	坂井 喜郎	山田 聡敦

② 災害時対策委員会

(主) 長谷川 吉生・

馬場 淳臣・澤山 透・稲田 健

2 庶務の概要

(1) 役員に関する事項

役 職	氏 名	就任年月日	現 職
理事（会 長）	山 口 哲 顕	令和5年5月30日	港北病院理事長・院長
理事（副会長）	大 野 史 郎	令和5年5月30日	平塚病院院長
理事（副会長）	大 滝 紀 宏	令和5年5月30日	湘南病院院長
理 事	畑 俊 治	令和5年5月30日	横浜丘の上病院名誉会長
理 事	黒 岩 隆	令和5年5月30日	相州病院理事長
理 事	武 田 龍太郎	令和5年5月30日	武田病院院長
理 事	長谷川 剛	令和5年5月30日	曾我病院院長
理 事	坂 井 喜 郎	令和5年5月30日	秦野厚生病院院長
理 事	増 田 直 樹	令和5年5月30日	清川遠寿病院理事長
理 事	馬 場 淳 臣	令和5年5月30日	横浜日野病院院長
理 事	佐 伯 隆 史	令和5年5月30日	神奈川病院理事長
理 事	山 田 聡 敦	令和5年5月30日	国府津病院院長
理 事	笠 原 友 幸	令和5年5月30日	秦野病院院長
理 事	藤 渡 辰 馬	令和5年5月30日	横浜相原病院院長
監 事	長谷川 吉 生	令和5年5月30日	日向台病院院長
監 事	澤 山 透	令和5年5月30日	相模ヶ丘病院院長

(2) 名誉会長に関する事項（日付は委嘱日）

名誉会長 竹 内 知 夫 令和5年5月31日 医療法人弘徳会愛光病院理事長

(3) 顧問に関する事項（日付は委嘱日）

顧問 古 谷 和 久 令和6年4月26日 二番町法律事務所弁護士

顧問 吉 田 勝 明 令和5年12月12日 公益社団法人神奈川県病院協会会長

(4) 事務局職員に関する事項

事務局長 杉 山 宏 平成31年4月1日採用

(5) 会員等の異動状況（届出順）

異動日	病 院 名	異動事項	変 更 後	変 更 前
R5. 4. 1	けやきの森病院	会員・院長	伊 吹 龍	物 部 長 承
R5. 4. 1	横浜市立大学附属病院	会員	浅 見 剛	菱 本 明 豊
R5. 4. 1	横浜市立大学附属病院	事務長	羽 田 政 直	林 健 一
R5. 4. 1	日向台病院	事務部長	三重野 美恵子	蒲 地 護
R4. 2. 1	湘南さくら病院	会員・院長	櫻 井 秀 樹	大須賀 康 高
R5. 4. 1	湘南さくら病院	会員・院長	宋 敏 鎬	櫻 井 秀 樹
R4.11.21	かわさき記念病院	事務長	大 平 潤	角 裕 徳
R5. 2. 1	あさひの丘病院	事務長	小 川 ひろみ	村 上 賢 之
R5. 4. 1	藤沢病院	事務長	高 橋 明 彦	松 下 早 苗
R5. 4. 1	藤沢病院	看護部長	石 山 映 子	(不在)
R5. 5. 1	横浜相原病院	開設者	浪 川 浩 明	中 村 秀 夫
R5. 6. 1	横浜ほうゆう病院	事務長	相 澤 裕	前 沢 恒 一
R5. 2.14	相模病院	会員・開設者	武 藤 由記子	坂 田 輝 房
R5. 2. 1	メンタルホスピタル かまくら山	事務長	阿 部 生 行 (代理)	宇 野 武
R5. 7. 1	秦野厚生病院	事務長	山 口 敬 一	水 堀 義 則
R5. 6. 1	紫雲会横浜病院	病床数	1 9 2 床	2 5 2 床
R5. 9. 1	ふじの温泉病院	会員	諫 山 博 之	加 藤 隆 司
R5. 9. 1	横浜相原病院	事務長	坂 本 賢 一	酒 井 篤 史
R4. 9. 1	厚木佐藤病院	事務長	江里口 貴 之	佐々木 徹
R5.10. 1	あさひの丘病院	事務長	小 川 ひろみ	安 藤 慎 也
R5.10. 1	けやきの森病院	開設者	伊 吹 龍	皆 川 美由紀
R5.11. 1	保土ヶ谷病院	院長	佐々木 道 夫	松 尾 活 光
R6. 1. 1	栄聖仁会病院	事務長	岩 下 幸 範	澤 田 輝 夫
R6. 3. 1	北小田原病院	事務長	大 川 覚	野 田 誠 康

(6) 理事会に関する事項

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
第1回	<p>1 日時 令和5年4月25日(火) 午後3時～5時55分</p> <p>2 方法 会場(AP横浜)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名、顧問1名 (理事5名、監事1名はオンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和4年度事業報告(案)について 事務局より資料1について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。</p> <p>(2)令和4年度収支予算の決算報告(案)について 事務局より資料2について説明を行い、協議の結果、案のとおり総会に諮ることとなった。</p> <p>(3)令和4年度 第11期定期総会開催及び優良職員等表彰について 事務局より資料3について説明を行い、協議の結果、定期総会の次第及び役割分担が決定された。また、優良職員表彰、日精協永年勤続病院職員表彰の受賞者が原案どおり承認された。</p> <p>(4)会員の変更、会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、けやきの森病院より会員・院長の変更届、横浜市立大学附属病院より会員の変更届があり、協議したところ、会員の変更については定款6条による承認となった。また、湘南さくら病院より会員・院長の変更届があったが、変更前の会員変更届が未提出となっていたため、承認は保留となった。さらに、横浜市立大学附属病院、日向台病院より事務長の変更届について報告がされた。</p> <p>(5)各種委員の推薦について 横浜市実地審査担当精神保健指定医は、協議の結果、現在の15名を引き続き推薦することとなった。 横浜市精神保健福祉審議会委員は、協議の結果、引き続き山口副会長、佐伯理事、長谷川吉生監事を、新たに馬場理事を推薦することとなった。 川崎市実地審査担当精神保健指定医は、協議の結果、現在の9名を引き続き推薦することとなった。</p> <p>(6)協会創立60周年記念事業について 資料のとおり、記念講演者、招待者について協議を行い、関係団体と4県市の幹部を招待することとし、記念講演者については引き続き検討していくこととなった。</p> <p>(7)その他</p> <ul style="list-style-type: none">後援名義使用許可申請について 事務局より資料7について説明を行い、協議の結果、日本精神科看護協会(第20回こころの日)、神奈川県保険医協会(市民公開講座、第31回在宅医療・介護セミナー)からの後援名義使用を承認することとなった。令和5年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議について 協議の結果、増田理事が出席することとなった。神奈川精神医療人権センターからの依頼文書について 協議の結果、アンケート協力依頼について、各病院に周知することはせず、問い合わせがあった場合には回答していない病院が多い旨を案内することとなった。

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
第2回	<p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和5年4月6日(木)に開催された4月理事会について、大野支部長より報告があった。</p> <p>(2)各部長会について 資料のとおり、看護部長会の第3回研修会の開催結果、また、4月に実施した3部長会の第1回運営委員会についてそれぞれ報告された。</p> <p>(3)4月～5月の連休中の休日輪番病院確保等について 資料のとおり、現時点での輪番表により調整状況が報告され、空床等となっている日については会長からも協力依頼があった。</p> <p>(4)第8回理事会議事録、臨時理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>1 日 時 令和5年6月13日(火) 午後3時～5時10分</p> <p>2 方 法 会場(AP横浜)とオンライン(Zoom)による会議</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名 (理事1名、監事1名はオンライン参加)、顧問1名(オンライン参加)</p> <p>4 進 行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和5年度役員役務分担について 協議の結果、資料のと通りの役務分担となった。また、山口会長の就任、坂井理事の日精協役員就任に伴い、各種委員の変更について協議の結果、横浜市障害者施策推進協議会委員は山口会長から佐伯理事に、神奈川県災害医療対策会議委員は山口会長から長谷川吉生監事に、神奈川県救急搬送受入協議会委員は山口会長から坂井理事に、かかりつけ医うつ病対応力向上研修講師は令和6年度より山口会長から澤山監事に、横浜市精神医療審査会委員は坂井理事と長谷川吉生監事の曜日を変更することとし、それぞれ事務局から依頼機関に対して調整を行っていくこととなった。</p> <p>(2)協会創立60周年記念事業について 記念式典の内容について協議を行い、記念講演者は全会一致で竹内名誉会長に依頼することとなった。また、特別功労者表彰は実施せず、祝賀会のスピーチは依頼しないこととなった。また、記念誌の発行時期については、記念式典の写真等を掲載して発行することとなった。</p> <p>(3)会員の変更、会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、湘南さくら病院より会員・院長の変更届があり、未提出となっていた過去の会員変更届けも含めて協議したところ、会員の変更については定款6条による承認となった。 また、かわさき記念病院、あさひの丘病院、藤沢病院から事務長の変更届、藤沢病院から看護部長の変更届、横浜相原病院から開設者変更届、横浜ほうゆう病院から事務長と薬剤部長の変更届について報告がされた。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(4)各種表彰候補者の推薦について 令和5年度神奈川県保健衛生表彰(知事表彰)は、協議の結果、笠原理事を推薦することとなった。 令和5年度神奈川県救急医療功労者表彰候補者は、協議の結果、港北病院を推薦することとなった。</p> <p>(5)各種委員の推薦について 神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会委員は、協議の結果、増田理事を引き続き推薦することとなった。 神奈川県精神科救急医療調整会議委員は、協議の結果、山口会長を新たに推薦することとなった。 神奈川県医療審議会委員は、会長職が委員となっているため、山口会長を新たに推薦することとなった。 相模原市精神科病院実地指導・実地審査担当医は、協議の結果、増田理事と澤山監事を引き続き、山田理事を新たに推薦し、北里大学から推薦のあった4名と合わせて推薦することとなった。</p> <p>(6)一般病院との医療連携について 資料のとおり、山口会長より説明があり、一般科病院と精神科病院との連携について、検討を行っていくこととなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和5年6月9日(金)に開催された第23回定時社員総会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)各部長会について 資料のとおり、事務長会、看護部長会、薬剤部長会の総会・第1回研修会の開催通知についてそれぞれ報告された。</p> <p>(3)各種会議について 資料のとおり、令和5年度第1回神奈川県精神科救急医療調整会議は議事録により、令和5年度神奈川メンタルヘルス対策推進連絡会議は増田理事より報告された。</p> <p>(4)第1回理事会議事録、臨時理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(5)第11期定期総会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p>
第3回	<p>1 日時 令和5年7月11日(火) 午後3時～4時45分</p> <p>2 方法 会場(横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ28階マンハッタンルーム)</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名 (理事1名、監事1名はオンライン参加)、顧問1名(オンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>5 協議事項</p> <p>(1)代表者・院長会議について 協議を行った結果、当日の進行について、講演会は増田理事、院長会議は馬場理事とし、講演会は資料に記載の依頼者案のとおり依頼することとなった。(その後の調整の結果、福島通子特定社会保険労務士に依頼することとなった。)院長会議は、今年度は食事の提供を行うことで予定していくこととなった。</p> <p>(2)協会創立60周年記念事業について 記念式典の内容について協議を行い、来賓予定者として国会議員も含めて招待状を出すこととなり、資料案のとおり招待状を今月中に発送するよう準備を進めることとなった。</p> <p>(3)会員の変更、会員病院の届出事項変更(報告)について 資料のとおり、相模病院より会員・開設者の変更届があり、協議したところ、定款6条による承認となった。 また、メンタルホスピタルかまくら山、秦野厚生病院から事務長変更届、紫雲会横浜病院から病床数変更届についての報告がされた。</p> <p>(4)各種表彰候補者の推薦について 神奈川県公衆衛生協会長表彰候補者は、協議の結果、千葉幸代調理師(愛光病院)を推薦することとなった。</p> <p>(5)各種委員の推薦について 神奈川県災害医療対策会議委員は、協議の結果、長谷川吉生監事を推薦することとなった。 神奈川県精神科病院実地審査担当医は、協議の結果、協会からの30名のうち27名は継続とし、佐伯理事、藤渡理事、伊吹龍先生(けやきの森病院院長)を新たに推薦し、北里大学、東海大学から推薦された10名を含めて40名を推薦することとなった。 神奈川県医師会長からの依頼のあった、救急医療対策委員会委員及び産業医部会幹事は引き続き山口会長を、災害救助対策委員会委員は引き続き坂井理事を推薦することとなった。 一般社団法人 J A P H ネットワーク 福祉部会・総代は、協議の結果、武田理事を新たに推薦することとなった。</p> <p>(6)後援名義使用申請について N P O 法人じんかれん からの「第49回精神保健福祉・県民の集い」については、協議の結果、承認された。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和5年6月29日(木)に開催された6月理事会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)各部長会について 資料のとおり、事務長会、看護部長会、薬剤部長会の総会・第1回研修会の開催結果についてそれぞれ報告された。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(3)各種会議について 資料のとおり、「精神科救急医療体制における新型コロナウイルス感染症対応等説明会」は7月28日開催予定であり、「令和5年度第1回神奈川県精神科救急医療調整会議」は議事録の確定版が送付されたこと、「令和5年度第1回かながわDPAT運営委員会」は報告書と資料が送付たことについて報告された。</p> <p>(4)第2回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p>
第4回	<p>1 日時 令和5年9月12日(火) 午後3時～5時15分</p> <p>2 方法 会場(A P横浜 6階 I ルーム)</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名 (理事2名はオンライン参加)、竹内名誉会長、古谷顧問(オンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)代表者・院長会議について 代表者・院長会議(懇談会)の協議事項等について協議を行い、会長就任以降のことについての報告、大野副会長から最近の日精協の活動等についての報告に続き、代表者・院長からの各病院近況報告をいただくこととなった。</p> <p>(2)協会創立60周年記念事業について 記念式典の内容について協議を行い、来賓予定者として国会議員、行政、団体の出欠状況について報告があり、会員病院への依頼文案、職員派遣の依頼文案、記念講演の依頼、祝賀会の準備、予算書案などについて資料のとおり承認された。記念品については、来賓に配布することとし、5,000円～10,000円程度で品物を探していくこととなった。 記念誌の内容について協議を行い、原稿の依頼、提出状況について報告があり、寄稿(思い出)の依頼者について看護部長経験者として中庭様、事務長経験者として植松様など4名を候補に依頼していくこととなった。 また、祝賀会の座席案等については、10月17日(火)に臨時理事会を開催して協議することとなった。</p> <p>(3)会員の変更、会員病院の届出事項変更(報告)について 資料のとおり、ふじの温泉病院より会員の変更届があり、協議したところ、定款6条による承認となった。 また、横浜相原病院の事務長変更届について報告がされた。</p> <p>(4)各種表彰候補者の推薦について 公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者は、協議の結果、該当なしとなった。 神奈川県精神保健福祉協会長表彰候補者は、協議の結果、大間美保(湘南病院管理栄養士)を推薦することとなった。 令和6年度「社会貢献者表彰候補者」は、協議の結果、該当なしとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(5)各種委員の推薦について 新たに茅ヶ崎市長より依頼のあった、茅ヶ崎市公務災害補償等審査会委員は、協議の結果、秋山寛(平塚病院診療部長)を推薦することとなった。 川崎市措置入院制度に関する懇談会委員は、協議の結果、引き続き武田理事を推薦することとなった。 山口委員の辞任に伴い推薦依頼があった川崎市精神医療審査会委員は、協議の結果、岡田昇(生田病院院長)を推薦することとなった。</p> <p>(6)その他 NPO法人じんかれんからの「第49回精神保健福祉・県民の集い」への臨席依頼については、山田理事、長谷川剛理事、大野副会長で出席者を調整することとなった。(大野副会長が出席された) 武田病院に対する神奈川県弁護士会からの警告文の対応状況について話があり、声明文のホームページへの掲載について検討していくこととされた。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和5年8月3日に開催された支部長会議について大野副会長より、令和5年9月7日に開催された9月理事会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)各部長会について 資料のとおり、看護部長会施設見学会の実施報告、事務長会施設見学会、事務長会医事研究会、看護部長会第2回研修会、薬剤部長会第2回研修会の開催予定についてそれぞれ報告された。</p> <p>(3)各研修事業について 資料のとおり、精神科看護職員研修会、精神科看護技術研修会の開催予定についてそれぞれ報告された。</p> <p>(4)各種会議について 資料のとおり、「精神科救急医療体制における新型コロナウイルス感染症対応等説明会」の実施結果について事務局より、「令和5年度神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会」について増田理事より報告された。</p> <p>(5)第3回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p>
第5回	<p>1 日時 令和5年12月12日(火) 午後3時～5時30分</p> <p>2 方法 会場(ビジョンセンター横浜 3階309)</p> <p>3 出席者 理事14名、監事2名 (理事2名、監事1名はオンライン参加)、竹内名誉会長、古谷顧問(オンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>5 協議事項</p> <p>(1)協会創立60周年記念事業について 記念式典の実施結果、出席者、収支状況等について事務局より報告を行った。記念誌については、写真の選定、全体のレイアウトなどについて協議を行い、1月中旬に発行できるように年内に最終的な原稿を固めていくこととなった。</p> <p>(2)各種表彰候補者の推薦について 令和6年度神奈川県県民功労者表彰候補者は、協議の結果、該当なしとなった。</p> <p>(3)各種委員の推薦について 横浜市こころの健康相談センター嘱託医師(判定業務)は、協議の結果、引き続き馬場理事、佐伯理事、藤渡理事、遠藤桂子(横浜舞岡病院副院長)を推薦することとなった。 相模原市精神医療審査会委員は、協議の結果、引き続き澤山監事、稲田健(北里大学)、福島端(あさひの丘病院院長)、関口剛(丹沢病院院長)を推薦することとなった。</p> <p>(6)その他 武田病院への神奈川県弁護士会からの警告文に対する声明文案と協会ホームページに掲載するお知らせ文案について協議を行い、そのとおり掲載することとなった。 各種会議等への参加について、「神奈川県医療観察制度運営連絡協議会」は、横浜日野病院の医療相談室係長が出席することとなった。また「横浜市病院協会新年祝賀会」、「川崎市医師会新春賀詞交歓会」、「県病院協会50周年記念式典・懇談会」は山口会長が出席で回答し、「県社協新年賀詞交歓会」は欠席で回答することとなった。 精神医療審査会について、県、横浜市、川崎市より、精神保健福祉法の改正による案件の増に伴い合議体を増やすため協会への委員の推薦人数を増やして依頼したい旨の説明があり、協議の結果、依頼文書を収受した。 「精神科病院への実態把握調査」実施について、県より説明があり、協議の結果、次回の理事会で改めて協議することとなった。 「身体的拘束適正化モデルチェックシート」に関連して、畑理事より提案があり、協議の結果、県精神科病院協会として検討ことではなく、日精協に問題提起などしていくこととなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 資料のとおり、令和5年11月2日に開催された11月理事会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)年末年始等の救急輪番体制について 資料のとおり、年末年始の救急輪番の調整状況について報告があった。</p> <p>(3)会員病院の届出事項変更について 資料のとおり、厚木佐藤病院、あさひの丘病院より事務長の変更届、けやきの森病院より開設者(理事長)の変更届、保土ヶ谷病院より院長の変更届について報告がされた。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(4)各部長会について 資料のとおり、事務長会施設見学会、事務長会医事研究会、看護部長会第2回研修会、薬剤部長会第2回研修会の開催結果についてそれぞれ報告された。</p> <p>(5)各研修事業について 資料のとおり、精神科看護職員研修会、精神科看護技術研修会の開催予定についてそれぞれ報告された。</p> <p>(6)第4回理事会、10月臨時理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)その他 県医師会会長、県病院協会会長の顧問委嘱の状況について事務局より報告があった。</p>
第6回	<p>1 日時 令和6年1月16日(火)午後3時～4時58分</p> <p>2 方法 会場(A P 横浜 6階Iルーム)</p> <p>3 出席者 理事13名、監事1名 (理事1名、監事1名はオンライン参加)、竹内名誉会長(オンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1)令和6年度当初予算(案)について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、案のとおり総会に諮ることとなった。なお、収支状況がマイナスで繰越額が減ってきていることから、令和5年度の決算を見て、会費の値上げ等の対応を検討していくこととなった。</p> <p>(2)第2回定期総会について 事務局より資料2について説明を行い、協議を行った結果、会場はホテルプラムで行うこととし、案のとおり通知することとなった。</p> <p>(3)各種委員の推薦について 神奈川県精神医療審査会委員は、合議体増による委員6名増員の推薦依頼があり、笠原理事、関口剛(丹沢病院)、竹内俊介(愛光病院)、岡崎有恆(みくるべ病院)、遠藤詩郎(富士見台病院)、大淵敬太(常盤台病院)の6名を新たに推薦することとなった。 横浜市精神医療審査会委員は、3名の任期切れと合議体増による委員5名増員の推薦依頼があり、山口会長、坂井理事を引き続き推薦し、佐伯理事は新たに合議体委員として推薦し、笠原理事、長谷川剛理事、藤渡辰馬理事、矢野広(国府津病院)を新たに合議体委員として、大野副会長を新たに予備委員として推薦することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>川崎市精神医療審査会委員は、5名の任期切れと合議体増による委員3名増員の推薦依頼があり、武田理事、竹林裕直(栗田病院長)、岡田昇(生田病院)、袖長光知穂(聖マリアンナ医科大学)、猪狩温(栗田病院：予備委員)の5名を引き続き推薦し、大野副会長、小山雄史(東横恵愛病院)、大坪明子(ハートフル川崎病院)の3名を新たに推薦することとなった。</p> <p>神奈川県公衆衛生協会理事は、新たに山口会長を推薦することとなった。</p> <p>(4)その他</p> <p>各種会議等への参加について、「薬物依存のある保護観察対象者等に対する地域支援連絡協議会」は、神奈川病院の医療相談室室長が出席することとなった。</p> <p>「精神科病院への実態把握調査」実施について、県より前回理事会での質問事項等への回答内容を中心に説明があり、協議の結果、1月26日の知事記者会見でアンケートの実施を発表するとのスケジュールなので、その前に日本精神科病院協会と協議を行い、その結果をもって県と調整することとなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 令和6年1月12日に開催された第8回理事会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)協会創立60周年記念事業について 現時点での収支状況と60周年記念誌の原稿が完成したことについて事務局より報告を行った。</p> <p>(3)会員病院の届出事項変更について 栄聖仁会病院より提出があった事務長の変更届について報告がされた。</p> <p>(4)各部長会について 各部長会の第3回研修会の開催予定についてそれぞれ報告がされた。</p> <p>(5)各研修事業について 精神科看護職員研修会、精神科看護技術研修会の開催予定についてそれぞれ報告され、栄養課職員研修会、コ・メディカル職員研修会については、担当理事において研修を企画するよう会長から話があった。</p> <p>(6)第5回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p>
第7回	<p>1 日 時 令和6年2月13日(火) 午後3時～4時38分</p> <p>2 方 法 会場(ビジョンセンター横浜 3階 309室)</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名 (理事3名、監事1名はオンライン参加)、竹内名誉会長、古谷顧問(オンライン参加)</p> <p>4 進 行 議長(会長)</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>5 協議事項</p> <p>(1)第2回定期総会について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、令和6年度事業計画書の重点事業のうち、新型コロナウイルス等感染症対策を「新興感染症、身体合併症対策の整備・充実」とし、令和6年度予算書については案のとおり定期総会に諮ることとなった。また、役割分担は、定期総会等の司会を増田理事、懇談会の司会を馬場理事、懇談会の乾杯は畑理事が行うこととなった。</p> <p>(2)各種委員の推薦について 生活保護法関係嘱託医は、引き続き坂井理事を推薦することとなった。 神奈川県いじめ防止対策調査会委員は、次回理事会までに候補者を検討することとなった。</p> <p>(3)その他 神奈川県保険医協会より「第32回在宅医療・介護セミナー開催に伴う後援名義使用承認」については、協議した結果、承認することとなった。 県が実施している「精神科病院への実態把握調査等について」の周知について、協議した結果、案のとおり周知することとなった。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について 令和6年2月9日に開催された第24回臨時社員総会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)4月～5月の連休中の休日輪番病院の確保等について 2月13日付で当番日アンケートを依頼したことについて事務局より報告を行った。</p> <p>(3)各部長会について 各部長会の研修会の開催予定についてそれぞれ報告がされた。</p> <p>(4)各研修事業について 精神科看護技術研修会の開催結果及び栄養課職員研修会の開催予定について報告がされた。なお、コ・メディカル職員研修会については、来年度に実施することについて報告がされた。</p> <p>(5)第6回理事会議事録について 議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)その他 ・2月8日に開催された精神科病院協会と行政間の「意見交換の場」の実施結果について報告がされた。</p>
第8回	<p>1 日時 令和6年3月12日(火) 午後3時～5時05分</p> <p>2 方法 会場(ビジョンセンター横浜 3階 306室)</p> <p>3 出席者 理事13名、監事2名 (理事3名、監事1名はオンライン参加)、竹内名誉会長、古谷顧問(オンライン参加)</p> <p>4 進行 議長(会長)</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>5 協議事項</p> <p>(1)令和5年度第12期定期総会の開催について 事務局より資料1について説明を行い、協議を行った結果、定期総会・表彰式を開催することとし、案のとおり開催通知を行い、優良職員表彰は3名までの推薦として推薦依頼を行うこととなった。また、関係行政機関及び県内選出の国会議員等に表彰式の招待状を送ることとなった。従来は招待状をカード形式で業者印刷し白封筒に毛筆の宛名書き筆耕依頼をしていたが、A4版用紙で作成して神精協の封筒で出すよう事務改善を図ることとなった。なお、祝賀会の実施については、着席式のビュッフェで行うよう会場と調整していくこととなった。</p> <p>(2)令和6年度年間主要行事予定について 事務局より資料2について説明を行い、理事会について、4月は決算の関係で30日(火)とし、2月は第2週が祝日のため2月4日(火)に開催することとなった。日精協関係の行事については関東地区協議会の日程を補足しておくこととなった。</p> <p>(3)4月～5月の連休中の休日輪番病院等の確保について 事務局より資料3について説明を行い、連休中の空床と応援指定医について引き続き各病院に依頼を行い、応援指定医が埋まらない場合は診療所協会長あてに依頼を行うこととなった。なお、連休前の平日(5月1日、2日など)に後方移送を実施するよう話があり、行政と調整を行うこととなった。</p> <p>(4)各種表彰者の推薦について 第76回保健文化賞候補者の推薦については、協議の結果、ふさわしい候補者がいないので、推薦しないこととなった。</p> <p>(5)各種委員の推薦について かながわ福祉サービス運営適正化委員会 運営監視委員会委員は、新たに藤渡理事を推薦することとなった。 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員は、会長が調整することとなった。(横浜ほうゆう病院 副院長の勝瀬大海先生を推薦することとなった。) 横浜市保健医療協議会委員は、引き続き佐伯理事を推薦することとなった。 神奈川県いじめ防止対策調査会委員は、新たに鶴見西井病院精神科医の蓮舎先生を推薦することとなった。 神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員は、引き続き大滝副会長を推薦することとなった。 神奈川県災害医療対策会議委員は、引き続き長谷川吉生監事を推薦することとなった。 神奈川県精神医療審査会委員は、引き続き大滝副会長、坂井理事、長谷川吉生監事、増田理事、笠原理事、畑俊彰(横浜丘の上病院理事長・院長)、福島端(あさひの丘病院院長)、関口剛(丹沢病院院長)、竹内俊介(愛光病院院長)、岡崎有恆(みくるべ病院院長)、遠藤詩郎(富士見台病院院長)、大淵敬太(常盤台病院院長)、山本賢司(東海大学教授)を、また新たに村岡寛之(北里大学病院講師)を推薦することとなった。あと1名は会長が調整することとなった。(新たに稲本淳子(昭和大学横浜市北部病院 メンタルケアセンター長)を推薦することとなった。) 新たに依頼があった川崎市における依存症対策に関するアドバイザーは、武田理事を任期は2年間として推薦することとなった。</p>

回数	出席理事数及び協議・報告事項の概要
	<p>(6)その他</p> <p>日本医療法人協会神奈川県支部より「第39回全国医療法人経営セミナー」開催に伴う後援名義使用申請については協議の結果、承認することとなった。</p> <p>精神科救急における側方移送について、県より資料の説明があり、病院に協力いただきたく行政から相談した際には協力して欲しい旨の話があった。</p> <p>精神保健福祉法の入院者訪問事業(県、川崎市事業)について、県より資料の説明があり、各保健所単位での地域相談事業所や精神科病院と繋がりがある事業者などを委託先として想定しているなどの説明があった。精神科病院が受託できるのではないかとの質問について、川崎市からは、精神科病院の職員が研修を受けて訪問支援員になることはできるが川崎市の職員としての業務になる旨の説明があった。なお、研修の中で病院管理者に講義いただくことになるので協力して欲しい旨の話があった。協会からは、精神科病院でも受託できるよう検討して欲しい旨を要望した。</p> <p>6 報告事項</p> <p>(1)日精協報告について</p> <p>令和3月7日に開催された日精協第9回理事会について、坂井理事より報告があった。</p> <p>(2)会員病院の届出事項変更について</p> <p>資料のとおり、北小田原病院から事務長変更届があったことについて報告された。</p> <p>(3)各部長会について</p> <p>薬剤部長会第3回研修会について澤山監事より報告された。また、看護部長会は3月13日(水)、事務長会は3月19日(火)に開催予定であることが報告された。</p> <p>(4)令和5年度第2回定期総会議事録について</p> <p>議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(5)第7回理事会議事録について</p> <p>議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。</p> <p>(7)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> • 精神科病院実態把握ヒアリング調査リハーサル(平塚病院)について、県より資料の説明があり、調査を受ける平塚病院(大野副会長)からは調査実施後に実施結果について報告することとされ、会長からはその報告を受けて来年からの実施に向けて意見交換させて欲しい旨の話があった。 • 山田理事が3月末で退職なので、理事を辞任する旨の報告があった。

(7) 総会に関する事項

回数	出席会員数及び議案、議決の概要	
第11期 定期総会 令和5年 5月30日(火)	1 開催日時	令和5年5月30日(火) 14時30分～15時30分
	2 会場	横浜ベイホテル東急 地下2F アンバサダーズボールルーム
	3 会員	総数62名(正会員56名 賛助会員6名) 議決権の数 56個 出席会員数 42名(正会員出席者21名 委任状提出会員21名) この議決権の数 42個
	出席理事	竹内 知夫、大野 史郎、山口 哲顕、畑 俊治、黒岩 隆、 大滝 紀宏、武田 龍太郎、長谷川 剛、坂井 喜郎、 増田 直樹、馬場 淳臣、佐伯 隆史、山田 聡敦、笠原 友幸
	出席監事	長谷川 吉生、澤山 透
	4 議案	
	第1号議案	令和4年度事業報告承認の件
	第2号議案	令和4年度決算報告(案)承認の件
	第3号議案	令和4年度会計監査報告の件
	第4号議案	役員改選の件
5 議事		
(1) 議長の選任		
	定刻14時30分 坂井 喜郎理事の司会により開催を告げる。	
	引続き竹内 知夫会長が開会のあいさつを行った。	
	続いて、司会者から定款第15条に基づく議長の選任について、司会者に一任を	
	諮ったところ出席者全員の拍手で承認された。	
	司会者は、福井記念病院 高屋 淳彦院長を指名し承諾が得られた。	
	高屋 淳彦院長が議長席に就く。	
	議長は、あいさつのあと本日の出席者について正会員出席者21名、委任状による	
	表決者21名の計42名で、定足数を超過しており総会は成立する旨を宣した。	
(2) 第1号議案	令和4年度事業報告承認の件、第2号議案	
	令和4年度決算報告(案)承認の件及び第3号議案	
	令和4年度会計監査報告の件について	
	議長は、これより議事に入ることを告げ、第1号議案から第3号議案までを議	
	案として提案することを宣した。	
	議長は、第1号議案及び第2号議案はそれぞれ関連があるので、一括して提案	
	するとともに事務局に議案の内容の説明を求めた。	
	杉山事務局長は、議長の指示に基づき第1号議案	
	令和4年度事業報告承認の	
	件及び第2号議案	
	令和4年度決算報告(案)承認の件を第11期定期総会議案書に	
	基づき各議案の概要を説明した。	
	続いて議長は、第3号議案について長谷川 吉生監事に報告を求めた。	
	長谷川監事は4月25日に会計監査を行った結果、適正に処理されていることを	
	報告した。	
	議長は第1号議案から第3号議案までの質疑を行うことを告げ、議場からの発	
	言を求めたが特に発言はなく、議長は第1号議案、第2号議案、第3号議案の議	
	案をそれぞれ個々に諮ったところ、いずれも満場一致異議なく承認され、議長は	
	原案通り承認可決されたことを告げた。	

回数	出席会員数及び議案、議決の概要
	<p>(3) 第4号議案 役員改選の件について</p> <p>議長は、第4号議案に関して事務局に立候補の状況について説明を求めた。</p> <p>杉山事務局長は、議長の指示により第11定期総会議案書に基づき立候補者数は理事、監事とも定款第20条の規定に定める定数以内であることなど、立候補の状況の概要を説明した。</p> <p>その後、議長は議場からの発言を求めたところ、特段の発言はなく、議長は、定款第17条第3項に基づき、候補者ごとにその可否を議場に諮った。その結果、いずれも満場一致異議なく下記のとおり承認可決されたことを告げた。</p> <p>理事 黒 岩 隆 理事 馬 場 淳 臣 理事 畑 俊 治 理事 長谷川 剛 理事 山 口 哲 顕 理事 大 滝 紀 宏 理事 笠 原 友 幸 理事 大 野 史 郎 理事 坂 井 喜 郎 理事 山 田 聡 敦 理事 武 田 龍 太 郎 理事 藤 渡 辰 馬 理事 増 田 直 樹 理事 佐 伯 隆 史 監事 長谷川 吉 生 監事 澤 山 透</p> <p>なお、議長は被選任者に就任承諾の確認を求め、被選任者全員が席上その就任を承諾した。</p> <p>司会者は、これより別室にて定款第21条第2項の規定により代表理事である会長及び副会長の選定のための理事会が開催されること、また暫時休憩の後、本議場において会長及び副会長の選任の結果報告がなされる予定であることを述べた。</p> <p>(新役員が別室に移動し、理事会を開催し会長及び副会長の選任を行った後、議場に戻る。)</p> <p>司会者は、会長及び副会長の選任の結果報告を求めた。</p> <p>大野副会長から、理事会における決議により、会長に山口 哲顕、副会長に大野 史郎、大滝 紀宏が選任されたことが報告された。</p> <p>山口新会長から、新役員を代表し就任あいさつを行うとともに、竹内 知夫前会長を名誉会長とする議案及び荒井 顧問を名誉会員に推薦することが提議された。</p> <p>議長は定款第28条に基づき、竹内 知夫前会長を名誉会長とすることについて議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認可決されたことを告げた。</p> <p>なお、議長は被選任者に就任承諾の確認を求め、被選任者全員が席上その就任を承諾した。</p> <p>議長は定款第5条に基づき、荒井 顧問を名誉会員として推薦することについて議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認されたことを告げた。</p> <p>議長は以上で予定の議事は全て承認されたことを告げ、審議の終了を宣し、15時30分降壇し閉会した。</p>

回数	出席会員数及び議案、議決の概要
	<p>司会者は以上で第11期定期総会を終了したこと、その他の発言はなく、司会者は、新役員が今後2年間協会運営に尽力願いたい旨発言し、15時30分散会した。</p>
<p>第2回 定期総会 令和6年 2月27日(火)</p>	<p>1 開催日時 令和6年2月27日(火) 15時30分～15時50分</p> <p>2 会場 ホテルプラム 2階 横浜市西区北幸2-9-1</p> <p>3 総会員数 総会員数62名(正会員56名 賛助会員6名)</p> <p>4 出席会員数 正会員出席者21名 委任状提出会員26名</p> <p>5 議案 第1号議案 令和6年度事業計画書(案)の件 第2号議案 令和6年度会計予算計画書(案)の件</p> <p>6 議長選任の経過 定刻15時30分 増田直樹 理事の司会により開催を告げる。 引続き山口 哲顕会長が開会のあいさつを行った。 続いて、司会者は定款第15条に基づく議長の選任について、司会者に一任を諮ったところ出席者全員の拍手で承認された。 司会者は、福井記念病院 高屋 淳彦院長を指名し承諾が得られた。 高屋 淳彦院長が議長席に就く。 議長は、協会会員数正会員56名のうち、本日の正会員出席者について、出席者21名、委任状による表決者26名の計47名で定足数を超えており、総会は成立する旨を宣した。</p> <p>7 議事の経過及び議案別決議の結果について 議長は、これより議事に入ることを告げ、第1号から第2号議案までを議案として提案することを宣した。 第1号議案 令和6年度事業計画書(案)の件、第2号議案 令和6年度会計予算計画書(案)の件について議長は、第1号議案と第2号議案は関連があるので、一括して提案するとともに事務局に議案の内容説明を求めた。 事務局長は、議長の指示に基づき第1号議案令和6年度事業計画書(案)の件及び第2号議案令和6年度会計予算計画書(案)の件を定期総会議案書に基づき概要を説明した。 議長は第1号議案及び第2号議案の質疑を行うことを告げ、議場からの発言を求めたが特に発言がなく議長は、第1号議案及び第2号議案について一括で承認を求めたところ、出席者多数の拍手で承認され、議長は原案通り承認可決されたことを告げた。 議長は以上で予定の議案は全て承認されたことを告げ、議案審議の終了を宣し降壇した。 司会者は、以上で令和5年度第2回定期総会を終了することを告げ、15時50分閉会した。</p>

令和5年度 決算報告(案)

I	収支計算書	
1	収支計算書総括表	33
2	一般会計収支計算書	34
3	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書	38
4	収支計算書に対する注記	39
II	財務諸表	
1	貸借対照表	40
2	貸借対照表総括表	41
3	一般会計貸借対照表	42
4	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表	43
5	財産目録	44
6	正味財産増減計算書	46
7	正味財産増減計算書内訳表	48
8	正味財産増減計算書総括表	50
9	一般会計正味財産増減計算書	52
10	精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書	54
11	財務諸表に対する注記	55
12	附属明細書	56
III	公益目的支出計画	
1	公益目的支出計画の概要	57

収支計算書総括表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

科 目	一 般 会 計	輪 番 調 整 業 務 等 受 託 事 業 会 計	合 計
1 会費収入	12,890,500		12,890,500
2 繰入金収入	9,629,075		9,629,075
3 利息収入	31,494	75	31,569
4 雑収入	1,674,000		1,674,000
5 事業収入		121,868,215	121,868,215
6 特定預金取崩収入	6,416,000		6,416,000
収 入 計	30,641,069	121,868,290	152,509,359
前期繰越収支差額	17,979,279	0	17,979,279
収 入 合 計	48,620,348	121,868,290	170,488,638

2 支出の部

科 目	一 般 会 計	輪 番 調 整 業 務 等 受 託 事 業 会 計	合 計
1 一般管理費	26,304,164		26,304,164
2 特別支出	6,736,966		6,736,966
3 事業支出		112,848,215	112,848,215
4 繰入金支出		9,020,075	9,020,075
支 出 計	33,041,130	121,868,290	154,909,420
当期収支差額	△ 2,400,061	0	△ 2,400,061
次期繰越収支差額	15,579,218	0	15,579,218

一般会計収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

款	項	目	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
基本収益	会 費	会 員 会 費	11,716,000	11,716,500	500	・正会員 基本会費及び病床割会費 ・賛助会員
		特 別 会 費	1,400,000	1,174,000	△ 226,000	・代表者・院長会議特別会費 ・優良職員表彰等特別会費 ・精神科看護技術研修受講料 ・精神科看護職員研修受講料
	そ の 他	繰 入 金 入 収	9,645,000	9,629,075	△ 15,925	・救急医療輪番調整委託費 ・精神科看護職員研修事業補助金
事業外 収 入	運用財産	預 金 利 息	32,000	31,494	△ 506	・県債利息ほか
	そ の 他	雑 収 入	700,000	1,674,000	974,000	・会報広告料 ・60周年祝賀会費・祝金 ・日精協事務手数料
特定預金 取崩収入	積 立 金 崩 取	契約更新料 積立金取崩 収 入	116,000	116,000	0	・2年毎
		周年記念事業 積立金取崩 収 入	6,300,000	6,300,000	0	
収 入 計			29,909,000	30,641,069	732,069	
前期繰越収支差額			16,780,193	17,979,279	1,199,086	
収 入 合 計			46,689,193	48,620,348	1,931,155	

2 支出の部

款	項	目	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
一 般 管理費	事 務 費	職員手当	8,529,000	8,155,968	△ 373,032	・常勤職員(2名)の給与,賞与 ・臨時職員賃金
		通 勤 費	438,000	362,396	△ 75,604	・常勤職員(2名)の通勤手当 ・臨時職員交通費
		法 定 福 利 費	1,530,000	1,327,512	△ 202,488	・社会保険料等事業主負担分
		福 厚 生 利 費	1,744,000	3,301,091	1,557,091	・優良職員表彰経費 ・常勤職員健康診断費
		事 務 所 賃 借 料	3,320,000	3,319,800	△ 200	・協会事務所借上代 契約更新料
		リ ー ス 料	634,000	633,480	△ 520	・複合機リース料 ・電話機主装置等 ・パソコン
		水 光 熱 道 費	156,000	151,760	△ 4,240	・電気料 ・水道料
		事 務 用 品 費	447,000	434,479	△ 12,521	・複写用紙 ・複写カウント度数料 ・消耗品 ・物品購入 ・PCソフト
		通 信 費	721,000	642,836	△ 78,164	・電話料、郵便切手等 ・インターネット関係経費 ・クラウドストレージ
		旅 交 通 費	24,000	41,100	17,100	・事務連絡旅費
		印 刷 代	818,000	678,084	△ 139,916	・総会議案書 ・協会報 ・その他
		助 成 金	250,000	180,000	△ 70,000	・県精神保健福祉士協会 ・県精神保健福祉協会 ・日本精神科看護協会

款	項	目	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
一 般 管理費	事 務 費	教 育 費	1,681,000	1,515,743	△ 165,257	・看護技術研修 ・栄養課職員研修 ・精神科看護職員研修
		交 際 費	350,000	84,760	△ 265,240	・祝い金、生花等慶弔経費
		諸 会 費	159,000	89,000	△ 70,000	・各種団体等会費
		救急医療 体 制 費	275,000	107,525	△ 167,475	・救急医療体制関係経費
		総 会 費	600,000	463,358	△ 136,642	・定期総会会場借上げ
		理 事 会 費	909,000	1,406,292	497,292	・理事会開催費
		代 表 者・ 院 長 会 費	850,000	1,153,283	303,283	・会議開催
		看 護 部 長 会 費	300,000	350,000	50,000	・会議・研修会等開催
		小 委 員 会 費	252,000	24,000	△ 228,000	・精神保健関係打合会経費等
		手 数 料	1,399,000	1,399,830	830	・顧問料 ・各種振込手数料 ・決算、申告報酬 ・公益目的支出計画実施報告書作成 ・毎月業務処理報酬 ・みずほe-ビジネスサイト利用料
		公 租 公 課 費	975,000	399,200	△ 575,800	・各種契約書印紙代 ・法人税等引当金 ・消費税引当金
		雑 費	102,000	82,667	△ 19,333	・来客接待 ・新聞購読料他
		予 備 費	150,000	0	△ 150,000	
一般管理費小計			26,613,000	26,304,164	△ 308,836	

款	項	目	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
特別支出		会員名簿作成費積立金	130,000	130,000	0	・隔年発行
		60周年記念事業費	7,000,000	6,606,966	△ 393,034	
特別支出小計			7,130,000	6,736,966	△ 393,034	
支 出 計			33,743,000	33,041,130	△ 701,870	
当期収支差額			△ 3,834,000	△ 2,400,061	1,433,939	
次期繰越収支差額			12,946,193	15,579,218	2,633,025	

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

1 収入の部

(単位：円)

款	項	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
事業収入	受入体制確保費	110,324,000	112,848,215	2,524,215	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
	輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0	神奈川県負担額 横浜市負担額 川崎市負担額 相模原市負担額
雑収入	預 金 利 子	1,000	75	△ 925	
収 入 計		119,345,000	121,868,290	2,523,290	
前期繰越収支差額		0	0	0	
収 入 合 計		119,345,000	121,868,290	2,523,290	

2 支出の部

款	項	令和5年度 予 算 額	令和5年度 決 算 額	予算に対する 決算増・減 (△)	内 訳
事業支出	受入体制確保費	110,324,000	112,848,215	2,524,215	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
繰入金支	繰入金支出	9,021,000	9,020,075	△ 925	一般会計に繰入
支 出 計		119,345,000	121,868,290	2,523,290	
当期収支差額		0	0	0	
次期繰越収支差額		0	0	0	

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、定期預金(流動資産)、未収入金、立替金、未払金、預り金、前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高			
	一般	輪番調整	内部取引消去	合計
現金預金	15,748,190	0	0	15,748,190
未収入金	2,875,000	28,563,683	△ 2,255,000	29,183,683
合 計 (A)	18,623,190	28,563,683	△ 2,255,000	44,931,873
未払金	510,894	28,563,683	△ 2,255,000	26,819,577
預り金	133,017	0	0	133,017
合 計 (B)	643,911	28,563,683	△ 2,255,000	26,952,594
次期繰越収支差額(A)－(B)	17,979,279	0	0	17,979,279

(単位：円)

科 目	当期末残高			
	一般	輪番調整	内部取引消去	合計
現金預金	12,979,503	0	0	12,979,503
未収入金	3,073,700	31,305,138	△ 2,255,000	32,123,838
合 計 (A)	16,053,203	31,305,138	△ 2,255,000	45,103,341
未払金	257,132	31,305,138	△ 2,255,000	29,307,270
預り金	216,853	0	0	216,853
合 計 (B)	473,985	31,305,138	△ 2,255,000	29,524,123
次期繰越収支差額(A)－(B)	15,579,218	0	0	15,579,218

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	481	481	0
普通預金	11,779,022	14,547,709	△ 2,768,687
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	32,123,838	29,183,683	2,940,155
流動資産合計	45,103,341	44,931,873	171,468
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	0	6,300,000	△ 6,300,000
契約更新料積立預金	0	116,000	△ 116,000
会員名簿積立預金	130,000	0	130,000
特定資産合計	3,130,000	9,416,000	△ 6,286,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	22,500,000	0
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	23,350,584	0
固定資産合計	28,580,584	34,866,584	△ 6,286,000
資産合計	73,683,925	79,798,457	△ 6,114,532
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	29,307,270	26,819,577	2,487,693
預り金	216,853	133,017	83,836
流動負債合計	29,524,123	26,952,594	2,571,529
2. 固定負債			
退職給付引当金	307,800	201,600	106,200
固定負債合計	307,800	201,600	106,200
負債合計	29,831,923	27,154,194	2,677,729
III 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	41,752,002	50,544,263	△ 8,792,261
(うち特定資産への充当額)	(3,130,000)	(9,416,000)	△ 6,286,000
正味財産合計	43,852,002	52,644,263	△ 8,792,261
負債及び正味財産合計	73,683,925	79,798,457	△ 6,114,532

貸借対照表総括表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	一般会計	輪番調整業務 受託事業会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	481			481
普通預金	11,779,022			11,779,022
定期預金	1,200,000			1,200,000
未収入金	3,073,700	31,305,138	△ 2,255,000	32,123,838
流動資産合計	16,053,203	31,305,138	△ 2,255,000	45,103,341
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	2,100,000			2,100,000
基本財産合計	2,100,000	0	0	2,100,000
(2) 特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000			3,000,000
会員名簿積立預金	130,000			130,000
特定資産合計	3,130,000	0	0	3,130,000
(3) その他固定資産				
投資有価証券	22,500,000			22,500,000
電話加入権	220,584			220,584
敷金	630,000			630,000
その他固定資産合計	23,350,584	0	0	23,350,584
固定資産合計	28,580,584	0	0	28,580,584
資産合計	44,633,787	31,305,138	△ 2,255,000	73,683,925
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	257,132	31,305,138	△ 2,255,000	29,307,270
預り金	216,853			216,853
流動負債合計	473,985	31,305,138	△ 2,255,000	29,524,123
2. 固定負債				
退職給付引当金	307,800			307,800
固定負債合計	307,800	0	0	307,800
負債合計	781,785	31,305,138	△ 2,255,000	29,831,923
III 正味財産の部				
指定正味財産	2,100,000	0		2,100,000
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(0)		(2,100,000)
一般正味財産	41,752,002	0		41,752,002
(うち特定資産への充当額)	(3,130,000)	(0)		(3,130,000)
正味財産合計	43,852,002	0	0	43,852,002
負債及び正味財産合計	44,633,787	31,305,138	△ 2,255,000	73,683,925

一般会計貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	481	481	0
普通預金	11,779,022	14,547,709	△ 2,768,687
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	3,073,700	2,875,000	198,700
流動資産合計	16,053,203	18,623,190	△ 2,569,987
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	0	6,300,000	△ 6,300,000
契約更新料積立預金	0	116,000	△ 116,000
会員名簿積立預金	130,000	0	130,000
特定資産合計	3,130,000	9,416,000	△ 6,286,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	22,500,000	0
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	23,350,584	0
固定資産合計	28,580,584	34,866,584	△ 6,286,000
資産合計	44,633,787	53,489,774	△ 8,855,987
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	257,132	510,894	△ 253,762
預り金	216,853	133,017	83,836
流動負債合計	473,985	643,911	△ 169,926
2. 固定負債			
退職給付引当金	307,800	201,600	106,200
固定負債合計	307,800	201,600	106,200
負債合計	781,785	845,511	△ 63,726
III 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	41,752,002	50,544,263	△ 8,792,261
(うち特定資産への充当額)	(3,130,000)	(9,416,000)	△ 6,286,000
正味財産合計	43,852,002	52,644,263	△ 8,792,261
負債及び正味財産合計	44,633,787	53,489,774	△ 8,855,987

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
未収入金	31,305,138	28,563,683	2,741,455
流動資産合計	31,305,138	28,563,683	2,741,455
資産合計	31,305,138	28,563,683	2,741,455
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	31,305,138	28,563,683	2,741,455
流動負債合計	31,305,138	28,563,683	2,741,455
負債合計	31,305,138	28,563,683	2,741,455
III 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	31,305,138	28,563,683	2,741,455

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位：円)

勘 定 科 目	金	額	
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金	481		
普 通 預 金			
普通預金 みずほ銀行横浜駅前支店	9,961,556		
普通預金 横浜銀行横浜駅前支店	1,817,466		
定 期 預 金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	1,200,000		
未 収 入 金			
受入体制確保費	29,050,138		
輪番調整業務受託費	2,255,000		
精神科看護職員研修事業補助金	609,000		
令和5年度確定還付消費税等	209,700		
流動資産合計		45,103,341	
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	2,100,000		
基本財産合計	2,100,000		
(2) 特 定 資 産			
災害時対策積立預金			
定期預金 みずほ銀行横浜駅前支店	3,000,000		
会員名簿積立預金			
普通預金 みずほ銀行横浜駅前支店	130,000		
特定資産合計	3,130,000		
(3) その他固定資産			
投 資 有 価 証 券			
神奈川県225回公募公債	12,500,000		
神奈川県243回公募公債	10,000,000		
電 話 加 入 権 事務局電話回線	220,584		
敷 金 事務局事務所	630,000		
その他固定資産合計	23,350,584		
固定資産合計		28,580,584	
資産合計			73,683,925
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金			
受入体制確保費	29,050,138		
社会保険料	172,194		
令和5年度法人県民税、市民税均等割	74,500		
その他	10,438		

勘定科目	金額	
預り金		
社会保険料2月・3月分	168,018	
源泉徴収所得税	48,835	
流動負債合計		29,524,123
2. 固定負債		
退職給付引当金	307,800	
固定負債合計		307,800
負債合計		29,831,923
Ⅲ 正味財産の部		43,852,002
負債及び正味財産合計		73,683,925

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科	目	当年度	前年度	増減
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	会員会費	11,716,500	11,799,000	△ 82,500
	特別会費	1,174,000	296,000	878,000
	受入体制確保費	112,848,215	107,262,717	5,585,498
	輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0
	預金利息	31,569	31,621	△ 52
	雑収入	1,674,000	835,000	839,000
	研修補助金	609,000	620,000	△ 11,000
	経常収益計	137,073,284	129,864,338	7,208,946
(2)	経常費用			
	事業費	141,536,647	125,073,514	16,463,133
	職員手当	7,381,260	6,724,597	656,663
	通勤費	312,920	318,022	△ 5,102
	法定福利費	1,191,260	1,072,398	118,862
	福利厚生費	3,299,215	209,012	3,090,203
	事務所賃借料	3,021,018	2,718,144	302,874
	リース料	576,467	615,365	△ 38,898
	水道光熱費	138,102	147,354	△ 9,252
	事務用品費	395,638	296,811	98,827
	通信費	573,820	735,773	△ 161,953
	旅費交通費	36,400	24,640	11,760
	印刷代	490,503	470,141	20,362
	助成金	180,000	150,000	30,000
	教育費	1,515,743	1,538,289	△ 22,546
	交際費	77,132	46,922	30,210
	諸会費	80,990	78,320	2,670
	救急医療体制費	107,525	0	107,525
	代表者・院長会費	1,153,283	857,083	296,200
	看護部長会費	350,000	200,000	150,000
	小委員会費	21,840	0	21,840
	手数料	703,876	98,296	605,580
	公租公課費	314,288	1,007,773	△ 693,485
	雑費	75,226	69,137	6,089
	退職給付引当金繰入	84,960	171,360	△ 86,400
	60周年記念事業費	6,606,966	261,360	6,345,606
	受入体制確保費	112,848,215	107,262,717	5,585,498
	管理費	4,254,398	4,684,410	△ 430,012
	職員手当	774,708	927,461	△ 152,753
	通勤費	49,476	50,994	△ 1,518
	法定福利費	136,252	138,936	△ 2,684
	福利厚生費	1,876	1,516	360
	事務所賃借料	298,782	370,656	△ 71,874
	リース料	57,013	83,914	△ 26,901
	水道光熱費	13,658	20,094	△ 6,436
	事務用品費	38,841	40,474	△ 1,633
	通信費	69,016	107,987	△ 38,971
	旅費交通費	4,700	6,960	△ 2,260
	印刷代	187,581	187,109	472
	交際費	7,628	6,398	1,230
	諸会費	8,010	10,680	△ 2,670
	総会費	463,358	727,305	△ 263,947
	理事会費	1,406,292	662,989	743,303
	小委員会費	2,160	0	2,160

科 目	当年度	前年度	増減
手数料	695,954	1,299,744	△ 603,790
公租公課費	10,412	1,527	8,885
雑費	7,441	9,426	△ 1,985
退職給付引当金繰入	21,240	30,240	△ 9,000
経常費用計	145,791,045	129,757,924	16,033,121
当期経常増減額	△ 8,717,761	106,414	△ 8,824,175
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,717,761	106,414	△ 8,824,175
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,792,261	31,914	△ 8,824,175
一般正味財産期首残高	50,544,263	50,512,349	31,914
一般正味財産期末残高	41,752,002	50,544,263	△ 8,792,261
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
III 正味財産期末残高	43,852,002	52,644,263	△ 8,792,261

正味財産増減計算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	継 1	継 2	継 3	小計	他 1	他 2	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
会員会費				0	11,536,500	180,000	11,716,500			11,716,500
特別会費		274,000		274,000	900,000		900,000			1,174,000
受入体制確保費	112,848,215			112,848,215			0			112,848,215
輪番調整受託費	9,020,000			9,020,000			0			9,020,000
預金利息				0			0	31,569		31,569
雑収入				0	1,489,000		1,489,000	185,000		1,674,000
研修補助金		609,000		609,000			0			609,000
経常収益計	121,868,215	883,000	0	122,751,215	13,925,500	180,000	14,105,500	216,569	0	137,073,284
(2) 経常費用										
事業費	122,430,751	1,815,871	275,950	124,522,572	16,834,075	180,000	17,014,075	0	0	141,536,647
職員手当	4,565,298	140,471	126,000	4,831,769	2,549,491		2,549,491			7,381,260
通勤費	212,157	6,528	3,161	221,846	91,074		91,074			312,920
法定福利費	768,408	23,643	20,036	812,087	379,173		379,173			1,191,260
福利厚生費	11,674	417	417	12,508	3,286,707		3,286,707			3,299,215
事務所賃借料	1,859,088	66,396	66,396	1,991,880	1,029,138		1,029,138			3,021,018
リース料	354,749	12,670	12,670	380,089	196,378		196,378			576,467
水道光熱費	84,986	3,035	3,035	91,056	47,046		47,046			138,102
事務用品費	241,675	8,631	8,631	258,937	136,701		136,701			395,638
通信費	346,481	12,374	12,374	371,229	202,591		202,591			573,820
旅費交通費	22,400	800	800	24,000	12,400		12,400			36,400
印刷代	37,847	1,352	1,352	40,551	449,952		449,952			490,503
助成金				0		180,000	180,000			180,000
教育費		1,515,743		1,515,743			0			1,515,743
交際費	47,466	1,695	1,695	50,856	26,276		26,276			77,132
諸会費	49,840	1,780	1,780	53,400	27,590		27,590			80,990
救急医療体制費	107,525			107,525			0			107,525
代表者・院長会費				0	1,153,283		1,153,283			1,153,283
看護部長会費				0	350,000		350,000			350,000
小委員会費	13,440	480	480	14,400	7,440		7,440			21,840
手数料	433,154	15,470	15,470	464,094	239,782		239,782			703,876
公租公課費	311,024	609		311,633	2,655		2,655			314,288
雑費	46,294	1,653	1,653	49,600	25,626		25,626			75,226
退職給付引当金繰入	69,030	2,124		71,154	13,806		13,806			84,960
60周年記念事業費				0	6,606,966		6,606,966			6,606,966
受入体制確保費	112,848,215			112,848,215			0			112,848,215
管理費								4,254,398	0	4,254,398
職員手当								774,708		774,708
通勤費								49,476		49,476
法定福利費								136,252		136,252
福利厚生費								1,876		1,876
事務所賃借料								298,782		298,782
リース料								57,013		57,013
水道光熱費								13,658		13,658
事務用品費								38,841		38,841

正味財産増減計算書内訳表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引 消 去	合 計
	継 1	継 2	継 3	小計	他 1	他 2	小計			
通信費								69,016		69,016
旅費交通費								4,700		4,700
印刷代								187,581		187,581
交際費								7,628		7,628
諸会費								8,010		8,010
総会費								463,358		463,358
理事会費								1,406,292		1,406,292
小委員会費								2,160		2,160
手数料								695,954		695,954
公租公課費								10,412		10,412
雑費								7,441		7,441
退職給付引当金繰入								21,240		21,240
経常費用計	122,430,751	1,815,871	275,950	124,522,572	16,834,075	180,000	17,014,075	4,254,398	0	145,791,045
当期経常増減額	△ 562,536	△ 932,871	△ 275,950	△ 1,771,357	△ 2,908,575	0	△ 2,908,575	△ 4,037,829	0	△ 8,717,761
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 562,536	△ 932,871	△ 275,950	△ 1,771,357	△ 2,908,575	0	△ 2,908,575	△ 4,037,829	0	△ 8,717,761
法人税、住民税及び事業税				0				74,500		74,500
当期一般正味財産増減額	△ 562,536	△ 932,871	△ 275,950	△ 1,771,357	△ 2,908,575	0	△ 2,908,575	△ 4,112,329	0	△ 8,792,261
一般正味財産期首残高										50,544,263
一般正味財産期末残高										41,752,002
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										0
指定正味財産期首残高										2,100,000
指定正味財産期末残高										2,100,000
III 正味財産期末残高										43,852,002

正味財産増減計算書総括表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一 般 会 計	輪番調整業務等 受託事業会計	内 部 取 引 消 去	合 計
一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
1 基本収益				
(1) 会員会費	11,716,500			11,716,500
(2) 特別会費	1,174,000			1,174,000
2 事業収益				
(1) 受入体制確保費		112,848,215		112,848,215
(2) 輪番調整受託費		9,020,000		9,020,000
3 事業外収益				
(1) 預金利息	31,494		75	31,569
(2) 雑収入	1,674,000			1,674,000
4 繰入金収益				
(1) 研修補助金	609,000			609,000
經常収益計	15,204,994	121,868,290	0	137,073,284
經常費用				
I 一般管理費				
1 事務費				
(1) 職員手当	8,155,968			8,155,968
(2) 通勤費	362,396			362,396
(3) 法定福利費	1,327,512			1,327,512
(4) 福利厚生費	3,301,091			3,301,091
(5) 事務所賃借料	3,319,800			3,319,800
(6) リース料	633,480			633,480
(7) 水道光熱費	151,760			151,760
(8) 事務用品費	434,479			434,479
(9) 通信費	642,836			642,836
(10) 旅費交通費	41,100			41,100
(11) 印刷代	678,084			678,084
(12) 助成金	180,000			180,000
(13) 教育費	1,515,743			1,515,743
(14) 交際費	84,760			84,760
(15) 諸会費	89,000			89,000
(16) 救急医療体制費	107,525			107,525
(17) 総会費	463,358			463,358
(18) 理事会費	1,406,292			1,406,292
(19) 代表者・院長会費	1,153,283			1,153,283
(20) 看護部長会費	350,000			350,000
(21) 小委員会費	24,000			24,000
(22) 手数料	1,399,830			1,399,830
(23) 公租公課費	324,700			324,700
(24) 雑費	82,667			82,667
(25) 退職給付引当金繰入	106,200			106,200
(26) 60周年記念事業費	6,606,966			6,606,966
2 事業費				
(1) 受入体制確保費		112,848,215		112,848,215
經常費用計	32,942,830	112,848,215	0	145,791,045
当期經常増減額	△ 17,737,836	9,020,075	0	△ 8,717,761

科 目	一 般 会 計	輪番調整業務等 受託事業会計	内 部 取 引 消 去	合 計
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	9,020,075	△ 9,020,075	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,717,761	0	0	△ 8,717,761
法人税、住民税及び事業税	74,500			74,500
当期一般正味財産増減	△ 8,792,261	0	0	△ 8,792,261
一般正味財産期首残高	50,544,263	0		50,544,263
一般正味財産期末残高	41,752,002	0	0	41,752,002
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	0	0	2,100,000
指定正味財産期末残高	2,100,000	0	0	2,100,000
正味財産期末残高	43,852,002	0	0	43,852,002

一般会計正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
1 基本収益			
(1) 会員会費	11,716,500	11,799,000	△ 82,500
(2) 特別会費	1,174,000	296,000	878,000
2 事業外収益			
(1) 預金利息	31,494	31,544	△ 50
(2) 雑収入	1,674,000	835,000	839,000
3 繰入金収益			
(1) 研修補助金	609,000	620,000	△ 11,000
經常収益計	15,204,994	13,581,544	1,623,450
經常費用			
I 一般管理費			
1 事務費			
(1) 職員手当	8,155,968	7,652,058	503,910
(2) 通勤費	362,396	369,016	△ 6,620
(3) 法定福利費	1,327,512	1,211,334	116,178
(4) 福利厚生費	3,301,091	210,528	3,090,563
(5) 事務所賃借料	3,319,800	3,088,800	231,000
(6) リース料	633,480	699,279	△ 65,799
(7) 水道光熱費	151,760	167,448	△ 15,688
(8) 事務用品費	434,479	337,285	97,194
(9) 通信費	642,836	843,760	△ 200,924
(10) 旅費交通費	41,100	31,600	9,500
(11) 印刷代	678,084	657,250	20,834
(12) 助成金	180,000	150,000	30,000
(13) 教育費	1,515,743	1,538,289	△ 22,546
(14) 交際費	84,760	53,320	31,440
(15) 諸会費	89,000	89,000	0
(16) 救急医療体制費	107,525	0	107,525
(17) 総会費	463,358	727,305	△ 263,947
(18) 理事会費	1,406,292	662,989	743,303
(19) 代表者・院長会費	1,153,283	857,083	296,200
(20) 看護部長会費	350,000	200,000	150,000
(21) 小委員会費	24,000	0	24,000
(22) 手数料	1,399,830	1,398,040	1,790
(23) 公租公課費	324,700	1,009,300	△ 684,600
(24) 雑費	82,667	78,563	4,104
(25) 退職給付引当金繰入	106,200	201,600	△ 95,400
(26) 名簿作成事業費	0	261,360	△ 261,360
(27) 60周年記念事業費	6,606,966	0	6,606,966
經常費用計	32,942,830	22,495,207	10,447,623
当期經常増減額	△ 17,737,836	△ 8,913,663	△ 8,824,173
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	9,020,075	9,020,077	△ 2
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,717,761	106,414	△ 8,824,175
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,792,261	31,914	△ 8,824,175

科	目	当年度	前年度	増減
	一般正味財産期首残高	50,544,263	50,512,349	31,914
	一般正味財産期末残高	41,752,002	50,544,263	△ 8,792,261
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
	指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
	正味財産期末残高	43,852,002	52,644,263	△ 8,792,261

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
1 事業収益			
(1) 受入体制確保費	112,848,215	107,262,717	5,585,498
(2) 輪番調整受託費	9,020,000	9,020,000	0
2 事業外収益			
(1) 預金利息	75	77	△ 2
經常収益計	121,868,290	116,282,794	5,585,496
經常費用			
1 事業費			
(1) 受入体制確保費	112,848,215	107,262,717	5,585,498
經常費用計	112,848,215	107,262,717	5,585,498
当期經常増減額	9,020,075	9,020,077	△ 2
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 9,020,075	△ 9,020,077	2
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	0

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権…移動平均法による原価法を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
減価償却資産は保有しておりません。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度において発生していると認められる額を計上しております。
- (4) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	0	0	2,100,000
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	0	0	3,000,000
周年記念事業積立預金	6,300,000	0	6,300,000	0
契約更新料積立預金	116,000	0	116,000	0
会員名簿積立預金	0	130,000	0	130,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

(単位：円)

科目	当期末残高	〔うち指定正味財産からの充当額〕	〔うち一般正味財産からの充当額〕	〔うち負債に対応する額〕
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	(2,100,000)	(0)	(0)
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
会員名簿積立預金	130,000	(0)	(130,000)	(0)

4. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
一般会計			
投資有価証券			
神奈川県225回公募公債	12,500,000	12,490,000	▲ 10,000
神奈川県243回公募公債	10,000,000	9,766,000	▲ 234,000

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地域医療介護総合確保基金事業費補助金	神奈川県	0	609,000	609,000	0	-

6. 実施事業資産について

実施事業資産は保有しておりません。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2に記載をしているので内容の記載を省略しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	201,600	106,200	0	0	307,800

公益目的支出計画の概要

1. 公益目的支出計画の状況

(単位：円)

	計画	実績	差額
① 公益目的財産額（平成25年3月31日時点）	42,207,305	42,207,305	0
② 前事業年度末日の公益目的収支差額	18,589,200	19,116,891	△ 527,691
③ 当該事業年度の公益目的支出額	88,871,920	124,522,572	△ 35,650,652
④ 当該事業年度の実施事業収入額	87,013,000	122,751,215	△ 35,738,215
⑤ 当該事業年度の公益目的収支差額 ②+③-④	20,448,120	20,888,248	△ 440,128
⑥ 当該事業年度末日の公益目的財産残額 ①-⑤	21,759,185	21,319,057	440,128

2. 公益目的支出内訳（実施事業の収支）

(単位：円)

事業内容	公益目的 支出額	実施事業 収入額	収支差額
(継1) 精神科救急医療に関する事業	122,430,751	121,868,215	562,536
(継2) 人材育成及び教育研修に関する事業	1,815,871	883,000	932,871
(継3) 委員等の推薦や諮問・協議の仲介等に関する 事業	275,950	0	275,950
計	124,522,572	122,751,215	1,771,357

監査報告

令和6年4月30日

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会

会長 山口哲顕 殿

監事 長谷川 吉生



監事 澤山 透



令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務執行に関して本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集等に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び事務局員からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する書類の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属書類は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況を適正に表示しているものと認めます。

- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

一般社団法人神奈川県精神科病院協会会費規程の改定について

令和6年5月

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会

現行の正会員会費は、次のとおり会費規程に基づき納付いただいています。

- ① 正会員基本会費 年額100,000円（賛助会員は30,000円）
- | | | | |
|-------|---------------|---|------------|
| 6年度予算 | 56病院×100,000円 | = | 5,600,000円 |
| | 6病院×30,000円 | = | 180,000円 |
| 合計 | | | 5,780,000円 |
- ② 病床数割会費 毎年度4月1日現在の精神科許可病床数により、年額1病床500円に許可病床数を乗じた金額
- | | | | |
|-------|--------------|---|------------|
| 6年度予算 | 11,873床×500円 | = | 5,936,500円 |
|-------|--------------|---|------------|
- ①と②の合計 11,716,500円

この正会員会費については、社団法人であった平成20年4月1日から同額であり、昨今の物価高騰により、6年度予算では370万円程度の赤字を見込むこととなっています。幸い5年度決算では、60周年記念事業の祝金等により240万円程度の赤字に留まったが、歳出削減も限界に来ており、厳しい運営状況となっているため、次のとおり会費規程の改正をお願いしたい。

- 1 基本会費について、正会員基本会費 年額100,000円を130,000円に改定する。
(賛助会員は30,000円のまま据え置き)
56病院×100,000円=5,600,000円
→ 56病院×130,000円=7,280,000円 (1,680,000円の増)
- 2 病床数割会費について、年額1病床500円を800円に改定する。
11,873床×500円=5,936,500円
→ 11,873床×800円=9,498,400円 (3,561,900円の増)
- 3 各部長会の会費について、事務長会は5,000円、看護部長会、薬剤部長会は3,000円が現行だが、オンラインとのハイブリッド形式での研修会の開催等により会場借上げ経費が高くなり、各部長会での経費に差がないことから、看護部長会、薬剤部長会の会費を5,000円と改定し、運営規定の改正を各部長会総会に諮っていきたい。
- 4 改定時期について
令和7年度予算に反映することとし、令和7年度の各会費から適用したい。

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会会費規程

改定案（令和6年5月28日）

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会定款第9条の規程に基づく会費を次のとおり定める。
(種類)

第1条 本会正会員の会費は、正会員基本会費及び病床数割会費を合計したものとし、賛助会員の会費は、賛助会員基本会費とする。

(正会員基本会費)

第2条 正会員基本会費は、一律年額~~100,000~~円130,000円とする。

(正会員病床数割会費)

第3条 病床数割会費は、当該病院の精神科許可病床数により、年額1病床~~500~~円800円に許可病床数を乗じた金額とする。

2 前項の精神科許可病床数は、毎年度4月1日現在の許可病床数によることとする。

(賛助会員基本会費)

第4条 賛助会員基本会費は、年額30,000円とする。

(中途入会による会費)

第5条 年の中途での入会による会費は、入会の時に本条に定める会費を納入するものとする。

(会費の納入期限)

第6条 会費の納入期限は、毎年度6月末日までとする。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

令和5年度 優良職員表彰受賞者名簿

令和6年5月

病院名	受賞者氏名	職名	備考
愛光病院	齋藤秀和 満屋絵里 黒田奈々	看護師 看護師 作業療法士	
あさひの丘病院	杉浦真佐美 加藤文俊 菊池耕太	管理栄養士 看護師 看護師	
厚木佐藤病院	渡邊あゆみ 柏木たみ 坂下重美	事務員 栄養士 薬剤師	
生田病院	神山奏子 松本秀樹 菊地陽子	看護師 放射線技師 清	
神奈川病院	山岸哲也 五十嵐理恵 石田いくみ	事務員 精神保健福祉士 事務員	
かわさき記念病院	福井俊哉 寺澤三奈子 池田和弘	医師 管理栄養士 介護福祉士	
北里大学病院	山崎志保 梅田洋平	医療ソーシャルワーカー 看護師	
栗田病院	福岡智美 伊佐次久江 今坂量拓	保育士 看護師 調理師	
清川遠寿病院	藤縄香保美 瀧澤知佐 下山俊輔	看護師 看護師 作業療法士	
けやきの森病院	清藤里美 小瀬真由美	事務員 看護師	
国府津病院	田中宏子 鈴木正智江 勝呂智江	看護師 看護補助者	
港北病院	明石衣治 片中山香大	看護師 看護師	
相模ヶ丘病院	辛島準子 小田切由美 鵜家正	看護師 看護師 看護師	

病 院 名	受 賞 者 氏 名	職 名	備 考
相 模 台 病 院	松野下 和 臣 子 川 井 綾 子	看 護 師 看 護 師	
紫 雲 会 横 浜 病 院	五十嵐 真奈美 金光 絢子 卷 木 一 徳	看 護 師 精 神 保 健 福 祉 士 精 事 務 員	
湘 南 病 院	神 脇 恵 子 十 楚 祥 恵 水 野 竜 宏	看 護 師 作 業 療 法 士 看 護 師	
湘 南 さ く ら 病 院	嶋 木 貴 章 安 藤 久美子 麻 地 洋 司	作 業 療 法 士 管 理 栄 養 士 看 護 師	
相 州 病 院	山 口 剛 慶 下 村 亜 希 子 小 川 基	作 業 療 法 士 看 護 師 心 理 士	
曾 我 病 院	鈴 木 裕 貴 鈴 木 由美子 田 中 香 枝	調 理 員 管 理 栄 養 士 精 神 保 健 福 祉 士	
武 田 病 院	迎 美 穂 佐 川 栄 子 杉 村 浩 美	管 理 栄 養 士 看 護 師 臨 床 心 理 士	
丹 沢 病 院	久保寺 弘 美 岩 崎 慎 行 飯 沼 一 代	ケ ア ワ ー カ ー 看 護 師 ケ ア ワ ー カ ー	
東 横 恵 愛 病 院	穂 山 拓 也 伊 藤 智 子 富 岡 裕 美	精 神 保 健 福 祉 士 精 事 務 員 公 認 心 理 師	
常 盤 台 病 院	深 澤 智 田 中 一 明 瀧 澤 幸 雄	精 神 保 健 福 祉 士 看 護 師 精 事 務 員	
ハートフル川崎病院	平 井 鉄 夫 村 本 幸 子	看 護 師 看 護 補 助 師	
秦 野 病 院	井 伊 健 太 郎 山 本 修 三 根 芝 加 奈	看 護 師 看 護 師 管 理 栄 養 士	
秦 野 厚 生 病 院	川 口 陽 介 大 野 愛 子 塚 原 宜 子	看 護 師 看 護 補 助 師 作 業 療 法 士	
日 向 台 病 院	岩 山 美 菜 子 鶴 谷 宏 之 子 手 塚 憲 子	看 護 師 看 護 師 准 看 護 師	

病院名	受賞者氏名	職名	備考
平塚病院	安東知行 井上仁志子 田中綾子	調理師 看護師 看護師	
福井記念病院	町田佳祐 興津純 斉木幸雄	看護師 精神保健福祉士 ケアワーカー	
富士見台病院	臼井良江 磯崎三重子 高橋絵理沙	事務員 看護師 作業療法士	
保土ヶ谷病院	小野沢すみ江 小島のぞみ 立花香奈子	看護補助員 事務員 看護師	
みくるべ病院	市川幸子 相原紀子 松澤円	管理栄養士 看護師 ケアワーカー	
メンタルホスピタル かまくら山	中邨麻衣 上田奈々子 折田裕子	薬剤師 看護師 作業療法士	
横浜相原病院	北井祐子 鈴木美和 高野恵	看護師 事務員 診療情報管理士	
横浜丘の上病院	北風まり子 高橋洋一	看護補助師 看護助手	
横浜カメラリア ホスピタル	倉崎里子 横山文子 宮田善文	看護補助者 看護補助者 医師	
横浜日野病院	近藤俊弘 三ツ石健太郎 栗原なつみ	看護助手 看護員 事務員	
横浜舞岡病院	皆澤由紀子 竹内有子 近藤恵	看護師 作業療法士 看護師	
受賞者計109名			

令和5年度 永年勤続病院職員表彰受賞者名簿

令和6年5月

病 院 名	受 賞 者 氏 名	職 名	備 考
愛 光 病 院	河 内 弥 生 樋 口 智 己	薬 剤 助 手 事 務 員	
清 川 遠 寿 病 院	木 口 麻 紀 相 原 義 典	看 護 師 精 神 保 健 福 祉 士	
栗 田 病 院	山 口 とも子	准 看 護 師	
相 模ヶ丘 病 院	竹 内 公 子	准 看 護 師	
紫 雲 会 横 浜 病 院	中 込 康 子 川 嶋 圭 恵	事 務 職 師 准 看 護 師	
湘 南 病 院	神 田 多加恵 宮 川 礼 米 澤 正 美	准 看 護 師 事 務 職 師 准 看 護 師	
相 州 病 院	岡 本 正 子	看 護 師	
曾 我 病 院	岡 部 和 美 長 岡 涼 子 渡 邊 将 司 長 谷 川 大 輔	管 理 栄 養 士 看 護 師 看 護 師 調 理 師	
秦 野 厚 生 病 院	菊 地 祐 子	精 神 保 健 福 祉 士	
福 井 記 念 病 院	森 比 呂 子	薬 剤 師	
横 浜 舞 岡 病 院	長 野 るみ子	看 護 師	
受賞者計19名			

